

各 位

会 社 名 株式会社 栗本鐵工所
コード番号 5602 (東証・大証第一部)
代 表 者 代表取締役社長 福井 秀明
問 合 せ 先 執行役員 財務部長 小島 眞也
TEL (06) 6538-7724

当社の販売商品に関する一部掲載について

本日、既に西日本高速道路株式会社様より、高速道路用「ポリエチレンシース」試験報告書に関する追加調査結果が同社のホームページに掲載されておりますが、本件について以下のとおりの報告申し上げます。

1. 本件の経緯について

当社建材事業部販売商品でありました「ポリエチレンシース」につきましては、平成11年2月に、エスティーエンジニアリング株式会社（以下、エスティーエンジという）・鳥居化成株式会社（以下、鳥居化成という）・他1社 および当社の4社にて契約を締結し、販売を開始いたしました。エスティーエンジは部品の製造、鳥居化成は本管の製造、当社は販売を担当いたしておりました。

その後、当社は採算上の問題から、平成16年7月26日に4社契約を解除、同事業から撤退する事を決めました。

しかしながら撤退決定後、旧日本道路公団様発注の第二名神池田高架橋につきましては、かねてから営業いたしておりました関係から販売する事となりました。

第二名神池田高架橋東工事につきましては平成17年1月より、第二名神池田高架橋下り工事につきましては同年8月より納入を開始し、それぞれ鋼弦器材株式会社（以下、鋼弦器材という）より商品の供給を受け、納入いたしました。平成18年3月、鋼弦器材が納入途中で事業を清算したため、大阪鋼弦器材株式会社（以下、大阪鋼弦という）とジャパンライフ株式会社（以下、ジャパンライフという）にそれぞれ譲渡される事となり、「ポリエチレンシース」につきましては、大阪鋼弦から引き続き供給を受ける事となりました。

第二名神池田高架橋東工事につきましては平成19年5月に、第二名神池田高架橋下り線工事につきましては同年6月に納入完了いたしました。同年9月下旬、元請会社様より旧日本道路公団規格JHS421試験成績書の提出要請があり、当社は初めてJHS421試験の存在を認識いたしました。

このため、平成19年10月上旬、大阪鋼弦にJHS421試験のデータ提出を要請したところ、「当社では応じられない」との回答であったため、ジャパンライフに問い合わせたところ、JHS421試験成績書（元データ）の提出があり、同試験様式に転記の上、当社名にて元請会社様へ提出いたしました。

2. 本件に対する社内調査結果について

(1) 元データの信憑性について

本年3月30日以降の一連の報道を受けて、ジャパンライフから当社に提出された元データの信憑性について同社に確認いたしましたところ、一部、旧鋼弦器材の試験成績書ではなく、他社製品のものであることが判明いたしました。

(2) 当社における元データの転記について

当社は本事業から撤退しておりましたため、JHS421 試験に対する認識不足があり、販売元として、ジャパンライフより提供された元データを、試験成績内容はそのまま転記し、試験者欄につきましては提出者である当社名、試験場所欄につきましては発行場所である当社工場名としておりました。また日付につきましては納入にあわせて記入し、提出いたしておりました。

3. 今後について

本件につきましては、既に販売を撤退していた商品であります。当社といたしましては、平成 20 年 1 月 1 日付で新設した社長直轄の品質管理室を中心に、今後も仕入商品につきましても、管理の強化、徹底に努めてまいります。

4. 業績に与える影響

本件による今期の業績に与える影響はございません。

以 上